

臨床研究のお知らせ

研究課題名：

「矯正治療と並行して行う連続抜去法の有用性について」

1. 研究内容

従来の治療法では、混合歯列期に明らかに歯のはえる隙間が足りないと予測できても、歯がはえそろう時期を待って治療を行うことが多く、治療期間が長引いたりマルチブラケット装置の期間が長くなり、患者さんの負担が大きくなります。

一方、連続抜去法を単独で治療すると、咬み合わせが深くなる可能性があったり骨格のバランスは改善しないため、適応範囲がきわめて限局されていました。

この研究では、最適な時期に歯の萌出誘導を行い、シンプルな矯正装置を併用することにより、患者さんがより快適に、また短期間で良い治療結果を得る治療法の開発を目的としています。検討された治療法が従来の治療法に比べて有効性が明らかになることにより、矯正治療を受ける患者さんがよりよい治療を受けることができるようになります。

2. 対象

2000年(平成12年)4月1日から2016年(平成28年)3月31日までの期間中に、矯正歯科にて、従来の矯正治療を受けられた患者さんが対象となります。

3. 研究の方法について

診断で連続抜去法の適応となった混合歯列期の患者さんの咬合の改善に、同方法と矯正装置を併用して治療を行います。初診時、矯正治療終了時に、写真検査（顔面写真、口腔内写真）、模型検査（口腔内模型）、X線検査（正面セファロ、側面セファロ、パノラマX線写真）を行い、連続抜去法を行わなかった従来の矯正治療と、比較検討を行います。

協力していただいた方に、本研究の結果が、直接利益および不利益となるような情報をもたらす可能性はありません。また、治療上においても不利益を被る事はありません。

協力いただいて得られた研究の成果は、個人情報を厳重に保護したうえで、学会発表および学術雑誌などで公表することがあります。今後の歯科医学発展のために、ご理解ご協力をお願い致します。

2016年3月

問い合わせ先 愛知学院大学歯学部 歯科矯正学講座
研究分担者 宮澤 健
連絡先電話番号 052-759-2111